

7. 縦隔腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数		手術	化学療法	放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野				
1 呼吸器内科	4	1	状況	×	○	×	呼吸器外科や放射線科と密に協力して診療しています。診断では気管支鏡検査を主に担当しています。	ア 診療科一覧 呼吸器内科 <a href="http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/kokyukika.html">http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/kokyukika.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	なし					
2 呼吸器外科	4	2	状況	○	○	×	胸部悪性疾患の治療は外科手術単独で完結することは少なく、呼吸器内科、放射線科、化学療法科などとの連携が必要です。診断の段階から、呼吸器内科、放射線科と検討会を持ち、診断方法、結果につき協議します。	ア 診療科一覧 呼吸器外科 <a href="http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/kokyukigeka.html">http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/kokyukigeka.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし					
3 放射線科	4	1	状況	×	×	○	肺がんは正常な肺組織に囲まれているので、たくさんの放射線を照射すれば同時に周囲の正常な肺組織にも相当の量があたってしまう。そこで、高精度放射線治療のひとつである「体幹部定位放射線治療」を用います。この治療は3次元的に多数の方向から標的病変に対し正確に照準を合わせ、集中的に放射線をあてる治療です。小さい肺がんであれば周囲の正常な肺組織にできるだけあたらない治療が可能となり、手術のできない患者様の選択肢になります。	ア 診療科一覧 放射線科 <a href="http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/houshasenka.html">http://www.sumitomo-hp.or.jp/about/shinryoka/houshasenka.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	あり					
4			状況					ア http://			
			実績								
5			状況					ア http://			
			実績								

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 胸腺腫 前縦隔腫瘍、後縦隔腫瘍
------------------------------------	-----------------------